

クラス番号	604	担当教員名	北村 育子
テーマ	高齢者支援と高齢者支援に携わる専門職に必要な技術について考える		
著書・論文 研究課題等	<p>現在の研究テーマとして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別養護老人ホームなど施設で暮らす高齢者と高齢者施設サービスの質に関すること</li> <li>・ 認知症高齢者とのコミュニケーションの方法に関すること</li> <li>・ 施設と在宅をつなぐ高齢者サービスの提供に関すること</li> </ul>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード： 高齢者支援方法    高齢者支援サービス    認知症			
<p><b>目的、内容、方法等：</b></p> <p>このゼミは、卒業後、高齢者支援に携わることを目指している方を対象とします。</p> <p>高齢者支援の場は、実習先である特別養護老人ホームや養護老人ホームではありません。また、皆さんが目指す社会福祉士は、家事援助や身体介助そのものではありません。高齢者の支援は、介護に関連するものにとどまるものではないのです。社会福祉士資格を取得するために、介護に関連するサービスについて学習することに多くの時間を費やすことにならざるを得ませんが、その一方で、介護ではない支援を必要とする高齢者についても考える必要があります。このゼミではまず高齢者の側に立って、高齢者を理解することに努め、どのようなことが必要とされているか、またその可能性があるのかを考えます。</p> <p>ゼミのもう一つのテーマは、さまざまな高齢者サービスに携わる社会福祉士の役割、必要な知識、技術について考えることです。特別養護老人ホームで働く場合と養護老人ホームで働く場合、実際にお年寄りや家族に対する援助を行うスタッフと施設の管理者、それぞれ必要な知識や技術が違います。</p> <p>皆さんは、これまでの授業や演習を通じて、上記の内容を既に多少とも考えていることでしょう。また、実習先の利用者や支援の内容については、より詳しい知識を持っていると思いますが、ゼミでは、仲間と協力し合うことで、それらの知識を互いに深め、講義科目では取り上げることのできない部分について学ぶことができるはずです。そのような場を作ることが目標であり、そこに主体的に参加できる方を求めます。</p> <p><b>授業計画：</b></p> <p>3年次前期は、高齢者福祉制度の体系、個々のサービスや施設の概要、そして、認知症の基礎知識を確認することから始めます。その上で、高齢者の生活をさまざまな角度からとらえることができるよう、いくつかの文献を読み進めたいと考えています。</p> <p>3年次後期は、前期の学習を踏まえて、各自関心のある事柄について話題を提起し、それについて全体で話し合い、徐々に各自が自らの研究テーマを明確にすることができることを目標にします。</p> <p>4年次前期は、専門演習論文の執筆をすすめ、後期は発表会にむけて準備をすることになります。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p>ゼミの開始時点で、高齢者福祉制度その他高齢者福祉論 I で取り上げた内容についてきちんと覚えている必要はありませんが、3年次後期に専門演習論文の執筆に向けて具体的な話をするができるよう、前期には基礎知識を固めます。この過程を有効にすすめていくために、ゼミ全体として互いに協力し合う関係を作ることが必要です。積極的な姿勢で臨んでくださるようお願いいたします。</p>			